

白版の必要性と作り方

白版の必要性 1

白版作成パターン 1

イラストレーターによる作成 2

- ① 白版用レイヤーを作る
- ② 白版オブジェクトを作る
- ③ 色を付ける
- ④ パスのオフセットをする

フォトショップによる作成 4

- ① パスを作る
- ② 解像度を 1200dpi に設定する
- ③ 作成したパスから選択範囲を作る
- ④ 選択範囲を塗りつぶす
- ⑤ モノクロ 2 階調に変換する
- ⑥ 保存する

白版作成のその他のポイント 7

- フォトショップで作成したパスをイラストレーターで使用する
- フォトショップによるグラデーションの白版データ

白版の必要性と作り方

白版の必要性

クリアファイルの印刷で白打ちが必要な場合は、大きく分けて3通りあります。

● カラーの写真やイラストを入れる場合

白い紙に4色カラーを印刷する場合、写真等の絵柄の中の白い部分は紙の色の白を使い、その他の色の部分をCMYKの4色で色をつけていきます。

クリアファイルは透明のPP(ポリプロピレン)を使用していますので、白打ちをしないと、写真等の絵柄の中の白い部分が透明になってしまいます。

ですので、写真やイラストの後ろには白色を印刷しなければなりません。

● クリアファイルの中に入れる書類を透けにくくしたい場合

通常のカラーインキは透明インキで、PPに何色を印刷しても中が完全に透けてしまいます。

白打ち用の白インキは不透明インキですので、中に入れる書類を透けにくくしたい場合は白打ちをします。しかし完全に不透明にはなりませんので注意して下さい。

● 白色をデザインとして使用する場合

白色をデザインとして利用する場合は白打ちが必要になります。

「白い文字や図形を入れたい」「白ベタを印刷したい」という場合です。

白版作成パターン

中に入れる書類は透けにくくなります



白を全面(表・裏)に印刷する事により中の書類は透けにくくなります。逆に、白を印刷しないと、中の書類は完全に透けます。

※ 判りやすいように白インキを■で表しています。
※ 白打ちした部分は完全に不透明にはなりません。

白を引かない部分だけ透けます



表面は右上のロゴ部分と下の写真部分に白を印刷し、裏面は全て白を印刷します。白を印刷していない部分は透明になりますので、表面から見て白を印刷していない部分だけ、中の書類が透けます。

※ 判りやすいように白インキを■で表しています。
※ 白打ちした部分は完全に不透明にはなりません。

白を利用して文字を入れたりする事もできます



表面は右上のロゴ部分と下の写真部分に白を印刷し、裏面はロゴのみ白を印刷します。表・裏面ともに透明部分ができ、中の書類が透けます。また、表面に白で文字を入れ、白版をデザインの一部として使用しています。このように、白版を工夫する事により、デザイン性の高いクリアファイルになります。

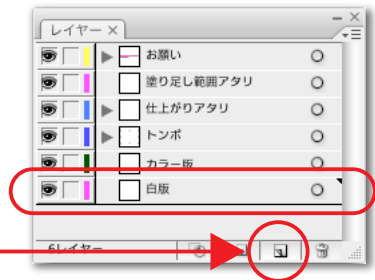
※ 判りやすいように白インキを■で表しています。
※ 白打ちした部分は完全に不透明にはなりません。

イラストレーターによる作成

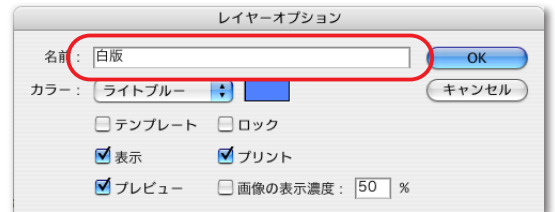
① 白版用レイヤーを作る

カラー版と同じファイル内に「白版」という名前のレイヤーを作成して下さい。

ここをクリックすると新規レイヤーが作成されます。

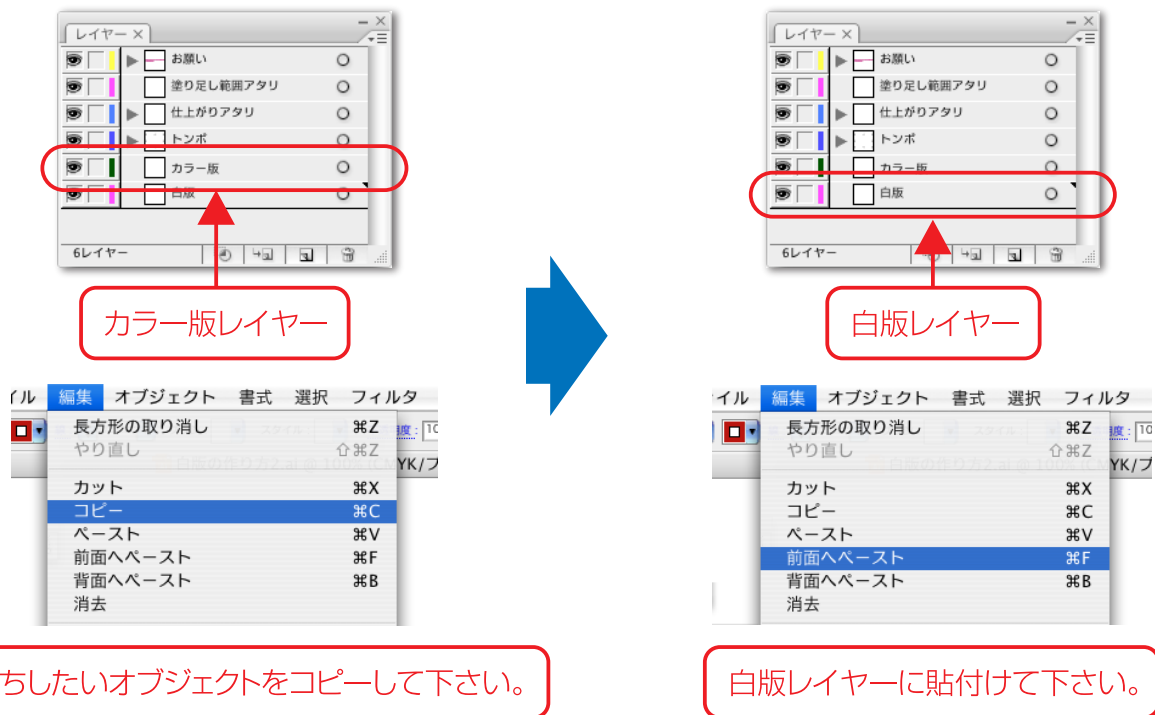


レイヤーをダブルクリックするとレイヤーオプションが開きますので、名前を「白版」として下さい。

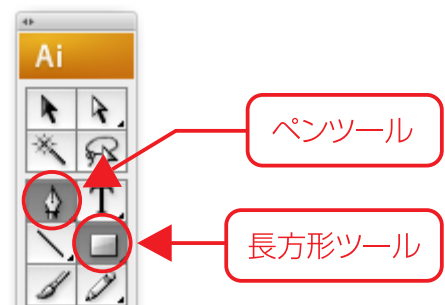


② 白版オブジェクトを作る

「カラー版(特色版)レイヤー」内の白打ちをしたいオブジェクトを選択し、メニューの「編集」→「コピー」をして「白版レイヤー」に「前面へペースト」して下さい。これを白版用オブジェクトとして使用します。



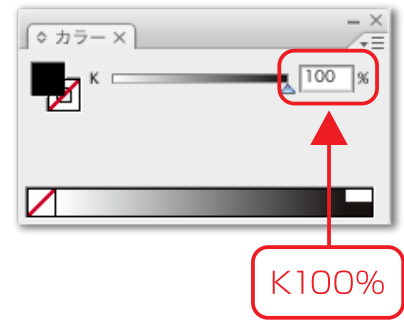
また、「ペンツール」や「長方形ツール」を使用して白版用オブジェクトを作る事もできます。上記の「カラー版(特色版)レイヤー」内にあるオブジェクトのコピー&ペースト以外に新たに白版用オブジェクトを作る事ができ、白版デザインの幅も広がります。



イラストレーターによる作成

③ 色を付ける

カラー版データと白版データを区別する為に、白版レイヤーにペーストしたオブジェクトに、K100%の色を付けて下さい。



④ パスのオフセットをする

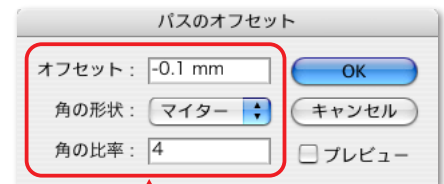
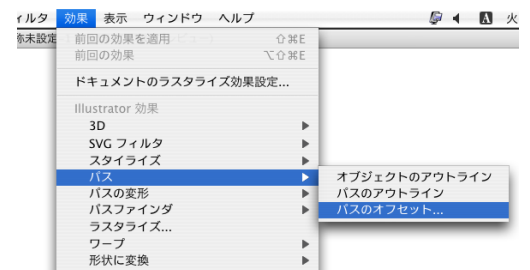
PPシートは性質上、印刷時に若干の伸縮があります。このまま印刷すると白インキが絵柄よりはみ出してしまいキレイな仕上がりになりません。そこでイラストレーターの「パスのオフセット」という機能を使用します。白版データをカラー版データより内側に0.1mm縮小して、PPシートが伸縮しても白インキがはみ出さないようにします。

「白版レイヤー」内にある「パスのオフセット」をしたいオブジェクトを選択して下さい。

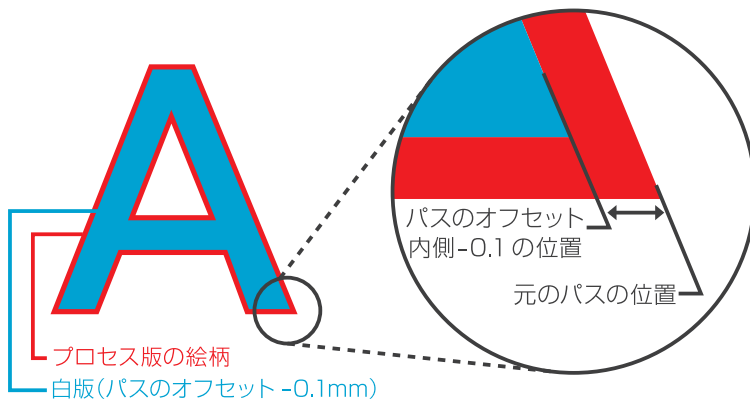
メニューの「効果」→「パス」→「パスのオフセット」を選択して下さい。

オフセット値を「-0.1mm」にして下さい。

これで白版がカラー版より-0.1mm内側に小さくなりますので、白インキがはみ出す事無くキレイな仕上がりになります。

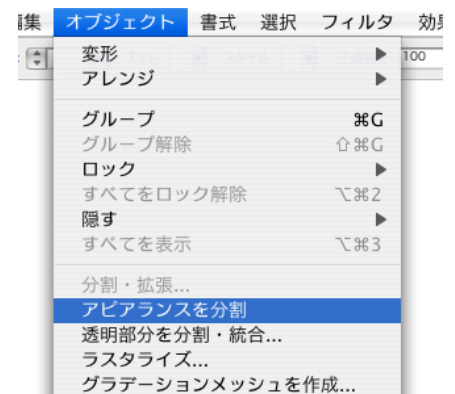


オフセット値：-0.1mm
角の形状：マイターもしくはラウンド
角の比率：4



パスのオフセットをしたら、メニューの「オブジェクト」→「アピアランスの分割」を選択して下さい。

バージョン8.0はパスのオフセットをするとオフセットをする前の元のパスが残りますので消去して下さい。

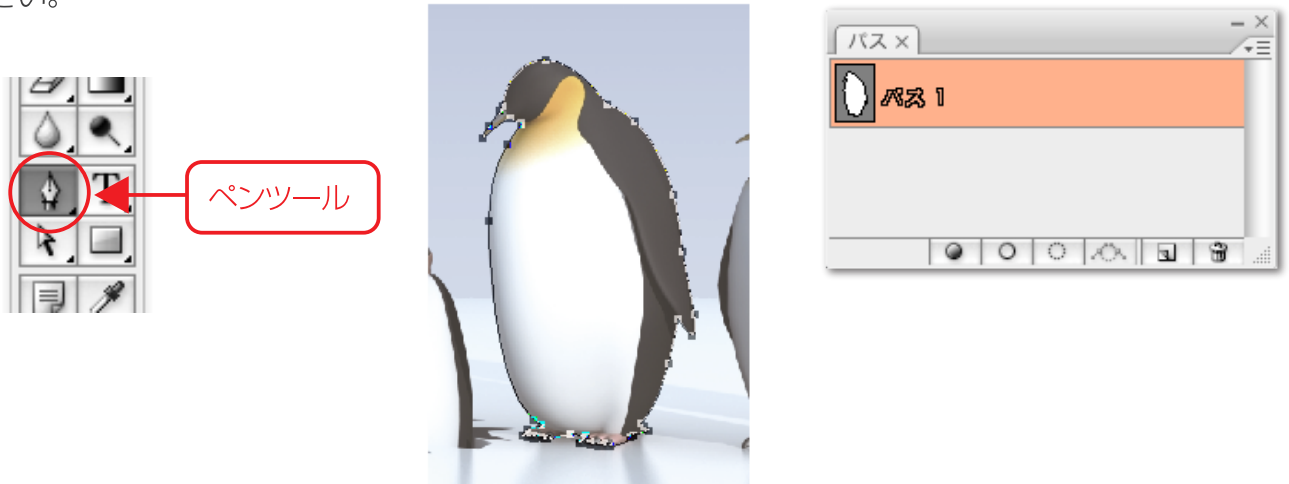


フォトショップによる作成

クリアファイルの白版データは、イラストレーターをお持ちでないお客様や、絵柄によってフォトショップで作りたい時などには、フォトショップを使用して作って頂く事も可能です。

① パスを作る

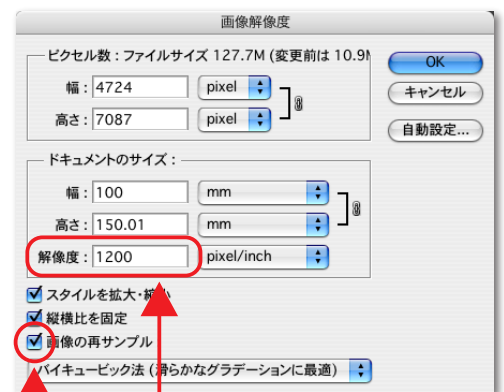
イラストレーターと同様に、ペンツールのパスで自由に白版用オブジェクトを作る事ができます。新規で白版レイヤーを作成して、白打ちをしたいオブジェクトに添ってペンツールでパスのオブジェクトを作ってください。



② 解像度を 1200dpi に設定する

上記でできたパスの選択範囲を作成する際に、細やかな選択範囲がとれるよう、解像度を1200dpiに設定して下さい。

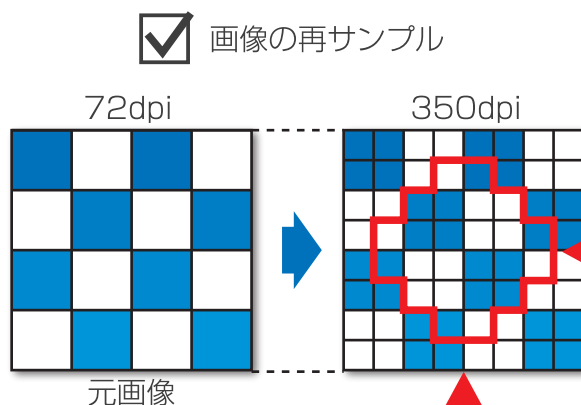
メニューの「イメージ」→「画像解像度」を選択して下さい。「画像の再サンプリング」にチェックを入れた状態で、解像度を1200dpiに設定して下さい。そうしますと、サイズはそのままで画像のピクセル数が多くなります。



1200に設定して下さい。

チェックを入れて下さい。

ピクセルの数が多くなれば、選択範囲を細かく作成できます。



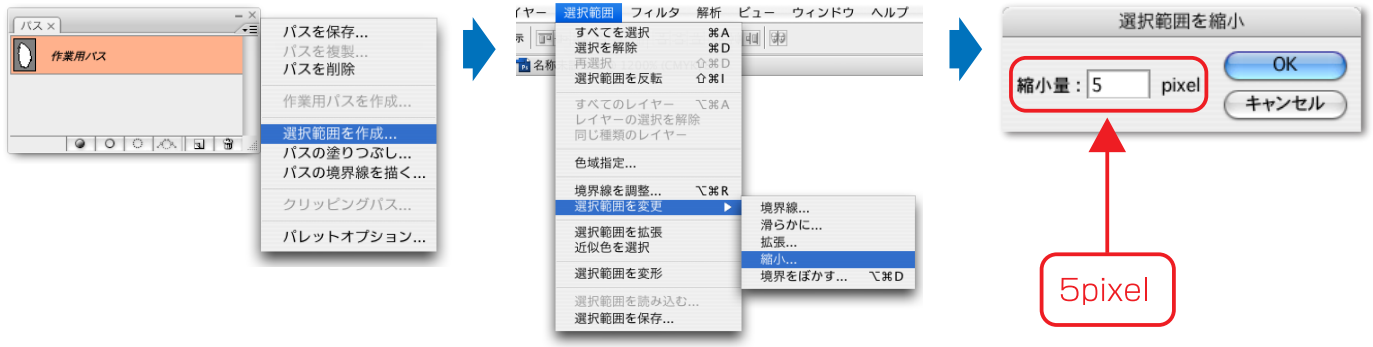
ピクセル数：多くなる サイズ：変わらない

フォトショップによる作成

③ 作成したパスから選択範囲を作る

パスを作成しましたらそのパスで**選択範囲**を作成して下さい。

イラストレーターのパスのオフセットと同様に**絵柄より白版を0.1mm小さく**しなければなりませんので、**選択範囲**が表示された状態で、メニューの「**選択範囲**」→「**選択範囲を変更**」→「**縮小**」で**5pixel**選択範囲を縮小して下さい。



解像度1200dpiの場合の5pixelは、0.1mmに値します。
イラストレーターのパスのオフセット (-0.1mm) をした時と同じ効果です。

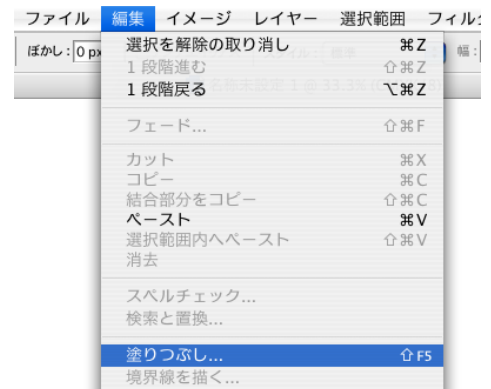
④ 選択範囲を塗りつぶす

選択範囲を**K 100%**で塗りつぶします。

メニューの「**編集**」→「**塗りつぶし**」を選択して下さい。

内容の使用を**カラー**に設定すると、**カラー選択ウィンドウ**が表示されますので、**CMYKの数値をK 100%**に設定して下さい。

そうしますと、**選択範囲がK 100%で塗りつぶ**されます。

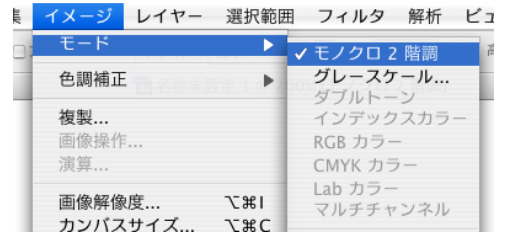


フォトショップによる作成

⑤ モノクロ 2 階調に変換する

メニューの「イメージ」→「カラーモード」で「グレースケール」にしてから「モノクロ2階調」に変換して下さい。

「白版データ」ができましたら、フォトショップ上で「カラー版データ」と重ね、透明効果の機能などを使って正確に作成されているか確認して下さい。



⑥ 保存する

カラーモードを「モノクロ2階調」に変換しましたら、別名保存をして下さい。この時、保存形式は「TIFF」に設定して下さい。

保存の前に必要のないレイヤーは消去しておいて下さい。



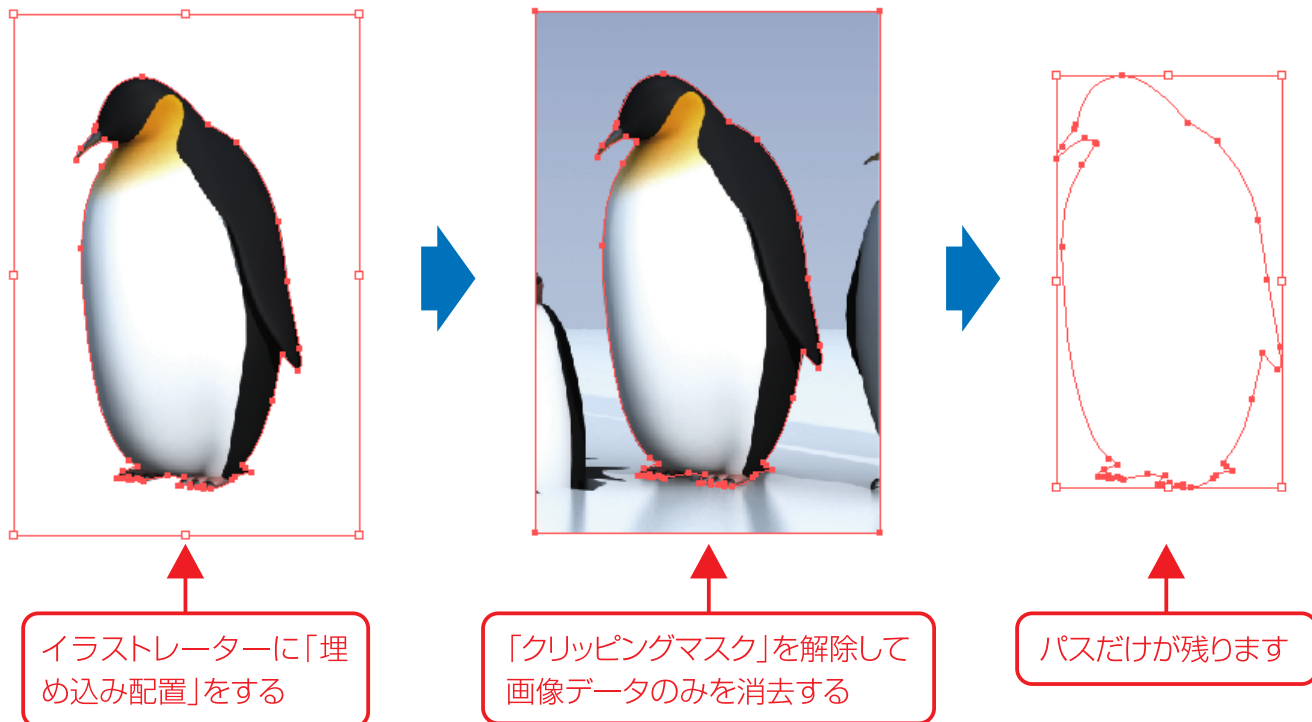
TIFFを選択して下さい。

白版作成のその他のポイント

● フォトショップで作成したパスをイラストレーターで使用する

イラストレーターをお持ちのお客様は、フォトショップで作成したパスを「クリッピングパス」にして別名保存して下さい。

イラストレーターに「埋め込み配置」をすると、マスクがかかった画像がパス付きで配置されますので、「クリッピングマスク」を解除してから画像データのみを消去して下さい。



そうしますと、フォトショップで作ったパスだけが残りますので、そのままイラストレーターで使用する事ができます。あとは「パスのオフセット」をして色をK100%に指定して下さい。

● フォトショップによるグラデーションの白版データ

グラデーションの絵柄がある白版データをフォトショップで作成する時は、「モノクロ2階調」ではなく「グレースケール」に変換して色を1色にして下さい。さらに色を変更する時は、カラーモードを「ダブルトーン」に変換して色を指定して下さい。

「グレースケール」に変換して、「ダブルトーン」で色を指定する時は、絵柄の一番濃い部分がK100%になるように補正してから「ダブルトーン」で色を指定して下さい。